

# CASBEE®-建築(新築)

# 評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-建築(新築)2016年版、CASBEE埼玉県2016年版 | 使用評価ソフト：CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)株式会社アレップス様 イン	階数	地上3F
建設地	埼玉県八潮市大瀬	構造	S造
用途地域	第二種高度地区	平均居住人員	50人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,380時間/年(想定値)
建物用途	集会所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年9月 予定	評価の実施日	2018年3月8日
敷地面積	3,235 m <sup>2</sup>	作成者	大和ハウス工業株式会社
建築面積	2,055 m <sup>2</sup>	確認日	2018年3月8日
延床面積	2,414 m <sup>2</sup>	確認者	大和ハウス工業株式会社



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.8**

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.1**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.6

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.5

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.1

### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 3.6**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.4

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他	
特になし	特になし	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
特になし	特になし	特になし
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
特になし	躯体と仕上げ材が容易に分別可能	特になし

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版、CAS  
(仮称)株式会社アレックス様 インドアテニス八潮

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版、C  
■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										2.1
Q1 室内環境							0.40	-	-	2.6
1 音環境						3.0	0.15	-	-	3.0
1.1 室内騒音レベル						3.0	0.40	-	-	
1.2 遮音						3.0	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能						3.0	1.00	-	-	
2 界壁遮音性能						-	-	-	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						-	-	-	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						-	-	-	-	
1.3 吸音						3.0	0.20	-	-	
2 温熱環境						2.0	0.35	-	-	2.0
2.1 室温制御						3.0	0.50	-	-	
1 室温						3.0	0.38	-	-	
2 外皮性能						3.0	0.25	-	-	
3 ゾーン別制御性						3.0	0.38	-	-	
2.2 湿度制御						1.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式						1.0	0.30	-	-	
3 光・視環境						3.0	0.25	-	-	3.0
3.1 昼光利用						3.0	0.30	-	-	
1 昼光率						3.0	0.60	-	-	
2 方位別開口						-	-	3.0	-	
3 昼光利用設備						3.0	0.40	-	-	
3.2 グレア対策						-	-	-	-	
1 昼光制御						-	-	-	-	
3.3 照度						3.0	0.20	-	-	
3.4 照明制御						3.0	0.50	3.0	-	
4 空気質環境						3.0	0.25	-	-	3.0
4.1 発生源対策						3.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質						3.0	1.00	-	-	
4.2 換気						3.0	0.30	-	-	
1 換気量						3.0	0.33	-	-	
2 自然換気性能						3.0	0.33	-	-	
3 取り入れ外気への配慮						3.0	0.33	-	-	
4.3 運用管理						3.0	0.20	-	-	
1 CO <sub>2</sub> の監視						3.0	0.50	-	-	
2 喫煙の制御						3.0	0.50	-	-	
Q2 サービス性能						-	0.30	-	-	2.5
1 機能性						2.1	0.40	-	-	2.1
1.1 機能性・使いやすさ						3.0	0.40	-	-	
1 広さ・収納性						-	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応						-	-	-	-	
3 バリアフリー計画						3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性						1.0	0.30	-	-	
1 広さ感・景観						-	-	-	-	
2 リフレッシュスペース						-	-	-	-	
3 内装計画						1.0	1.00	-	-	
1.3 維持管理						2.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計						2.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保						2.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性						2.7	0.30	-	-	2.7
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数						2.8	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔						3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔						3.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性						1.8	0.20	-	-	
1 空調・換気設備						1.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備						1.0	0.20	-	-	
3 電気設備						3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法						3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備						1.0	0.20	-	-	

<b>3 対応性・更新性</b>			<b>3.0</b>	0.30	-	-	<b>3.0</b>
3.1 空間のゆとり			<b>3.0</b>	0.30	-	-	
1	階高のゆとり		-	-	-	-	
2	空間の形状・自由さ		3.0	1.00	-	-	
3.2 荷重のゆとり			<b>3.0</b>	0.30	-	-	
3.3 設備の更新性			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>1.1</b>
1 生物環境の保全と創出			<b>1.0</b>	0.30	-	-	<b>1.0</b>
2 まちなみ・景観への配慮			<b>1.0</b>	0.40	-	-	<b>1.0</b>
3 地域性・アメニティへの配慮			<b>1.5</b>	0.30	-	-	<b>1.5</b>
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		<b>2.0</b>	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		<b>1.0</b>	0.50	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>			-	-	-	-	<b>3.6</b>
<b>LR1 エネルギー</b>			-	<b>0.40</b>	-	-	<b>4.4</b>
1 建物外皮の熱負荷抑制		[BPI][BPI <sub>m</sub> ] = 0.30	<b>5.0</b>	0.20	-	-	<b>5.0</b>
2 自然エネルギー利用			<b>3.0</b>	0.10	-	-	<b>3.0</b>
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEI <sub>m</sub> ] = 0.30	<b>5.0</b>	0.50	-	-	<b>5.0</b>
4 効率的運用			<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>
集合住宅以外の評価			<b>3.0</b>	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		-	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>2.7</b>
1 水資源保護			<b>2.2</b>	0.20	-	-	<b>2.2</b>
1.1 節水			<b>1.0</b>	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			<b>3.0</b>	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			<b>2.8</b>	0.60	-	-	<b>2.8</b>
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-	1.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体と仕上げ材が容易に分別可能	4.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>
3.1 有害物質を含まない材料の使用			<b>3.0</b>	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			<b>3.0</b>	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.4</b>
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率43%(参照値に対して50%以下)	<b>5.0</b>	0.33	-	-	<b>5.0</b>
2 地域環境への配慮			<b>2.3</b>	0.33	-	-	<b>2.3</b>
2.1 大気汚染防止			<b>3.0</b>	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			<b>2.0</b>	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			<b>2.5</b>	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			<b>3.0</b>	0.33	-	-	<b>3.0</b>
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	0.33	-	-	
2	振動		3.0	0.33	-	-	
3	悪臭		3.0	0.33	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			<b>3.0</b>	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

# CASBEE埼玉県

# 重点項目シート

■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

## 1 建物概要

建物名称	(仮称)株式会社アレップス様 インドアテニス八潮	BEE	0.8	BEEランク	★★
------	--------------------------	-----	-----	--------	----

## 2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア			
5.0	+	1.3	=	6.3	
重点項目の各スコアの合計点					
がんばろう 6.0未満	良い 6.0以上	非常によい 6.8以上	すばらしい 8.0以上		
					

## 3 重点項目についての環境配慮概要

<b>(1) ライフサイクルCO2の削減</b>		スコア平均	5.0
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	5.0
<配慮した内容を記述>			
<b>(2) 緑の保全・創出</b>		スコア平均	1.3
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	1.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	1.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	2.0
<配慮した内容を記述>			

: 入力欄